



Webが更新されています!
是非、ご覧ください!!



新年度に向けて

城北高校は、今年度も、建学の精神「人間をつくる」と教育理念「心を磨く」教育を基盤として、城北の進化「七つの学び」を通して生徒たちに未来を生きる抜く力を育みます。

生徒自らが「城北高校に入学して良かった」と思えるように全力でサポートしていきます。

新学期の校長日記より



城北高等学校
校長 竹原 英治

四月八日 「J」高の元日

四月八日、今日は城北高校の始業式！元日です。新しい年度の幕開けです。学校生活で新しい自分に出会う！新しい自分をつくる！日々が始まります。自分の居場所を自分の物語をつくるのです。物語は一生懸命の努力から生まれます。

何のために勉強するのか？自分が他の人に感謝される力を持つために勉強をするのです。そんな人生を生き抜く力をつけるために城北高校に使命があります。それが「ミッション」です。城北の「J」は、底から這いあがる力を表す「J」です。

四月九日 入学式

四月九日、今日は入学式です。腫腫々々四二名の新入生が希望の坂を上って城北高校生になります。看護専攻科にも二十五名の学生が入学します。お互いを認め合っていくの居場所を青春の物語をつくるのです。

感動の物語は本校オリジナルの「希望手帳」に日々考えたことを書き込むことから生まれます。感動の物語は感性を磨いて生まれます。感動したり泣いたり笑ったり喜んだり落ち込んだりいろいろなことがあっても「城北高校に入学して良かった」と思える物語をつくってほしいです。

四月十二日 学校のあたりまえ

今日は、新入生の一年生が、初めての二・三年生と対面する日です。学校では対面式を執り行います。幾多の学校には「学校のあたりまえ」があります。天と地と程の差がある「J」の学校のあたりまえによって、その学校の生徒たちは無意識に人間をつくることをしています。

みんながみんなを思いやる認めあつのがあたりまえ、心からのあいさつを気持ちよく受けるのがあたりまえ、心を込めて学校を美しく掃除するのがあたりまえ、日曜日の昨日の夕方、市民の方から城北高校生の行動の素晴らしさを電話で知らされました。学校に来られるお客様からいつも城北高校生の「あたりまえ」を知っています。ありがとうございます。感謝されます。

「J」は城北高校のあたりまえです。「J」は愛おられます。私は「J」は何か爽やかな温かい「J」を感じます。「J」はあついています。「J」はあついています。「J」の「J」が城北のあたりまえです。「J」はあついています。

入学式 希望を胸に

四月九日（金）、希望に満ちた表情で、本校の希望の坂を上ってくる皆さんの新入生の姿が見られました。この日、二〇二一年度第五十四回入学式が行われました。二百四十二名の新入生と二十五名の看護専攻科一年生が、希望を胸に本校の入学式に臨みました。新入生は、真新しい制服に身を包み、少し緊張した面持ちで入場しました。その表情から、これから始まる希望あふれる高校生活への期待が感じられました。

新入生で看護専攻科の新入生を迎え、本校全校生徒は七百五十五名となりました。普通科スポーツ科学コース、普通コース、特進コース、調理科、医療福祉科、看護科・看護専攻科のそれぞれの学科、コースが特色を生かし、一人一人を認め合いながら、切磋琢磨し成長していきます。

新入生たちは、「自分のことより先ず人のことを思え」の城北スピリッツを受け継ぎ、未来へと繋いでいきます。



新入生 誓いの詞

新入生代表 普通科特進コース

榎本 真希(山鹿中)

暖かな春風が感じられる今日の善哉日、私たち二百四十二名は、城北高等学校の入学式を迎えることができました。本日は、このような立派な入学式を挙げていただき、大変感謝しています。

今、私たちは緊張と不安の中にもこれから始まる高校生活への期待で胸が一杯です。私が、今、この場に立つまでには、たくさんの方々の応援や家族の支えがありました。城北高等学校の合格通知を手にした時の喜びは、忘れることができません。

今まで学んできたことを本校で生かし、一人ひとりが目標とする道に向かって、勉強や部活動に励み、目標を達成したいと思っています。本校の生徒として、一日一日を大切に過ごし、助け合いながら、高校生活を送ります。それぞれの科のみならず切磋琢磨しながら、毎日の学びを積み重ねていきたいと思っています。城北高校の「人間をつくる」という建学の精神「基」を、二〇二一年度入学生ととも自分自身の信念を持ち、社会に貢献できる自分への目標を掲げます。

最後になりますが、校長先生を始め諸先生方や先輩方には、「迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、学びにつながる多くのことを教えていただきながら、私たちのことを温かく、そして時に厳しく指導くださいますように、よろしくお願い致します。

看護専攻科 新入生代表

若男 華恋(菊水中)

いろいろな春の訪れを感じられる今日の善哉日、私たちの為に入学式を挙げていただき、誠にありがとうございます。

私たち二十五名は、本日この看護専攻科への入学を許可されました。私たちは、生徒から学生となり、今までは異なる環境に期待と不安で一杯です。しかし、二三年間苦業を共にした仲間たちとなり、一緒に乗り越えられると信じています。先輩方が切り拓いてくださった希望の道を、一歩一歩進みながら、二年後の国家試験に向け二十五名が一丸となり日々努力して参ります。

新型コロナウイルスは現在も世界中で猛威を振るっています。その中で、多くの患者様を救おうと、命がけで闘い続けている医療従事者の方々がいらついています。そのような方々への感謝の気持ちを強く持ち、今までの看護の学びを活かし、感染予防の知識を深め、確実な実践へと繋げていかねばなりません。一人一人が誠意を持って行動することで、豊かな生活を送れる日がくることを信じています。

わたしのSDGsの「1」である「人々の健康と福祉を」という目標があります。私たちは看護師を目指すものとして、想像力を働かせ一人一人が責任を持ち、考え、行動していかなくてはなりません。看護専攻科では、高校三年間で培った基礎的な学習を踏まえ、より専門的な知識を深めていきます。患者様の立場になり考え行動し、患者様の心と身体に寄り添っていくのが看護師の目指すところから、「自分のことより先ず、人のことを思え」を胸に抱き精進することを誓います。

令和3年度 城北高校の夢を叶える学び

城北から夢のトップアスリートへの第一歩
普通科スポーツ科学コース 主任 川口 敦

スポーツ科学コースは社会に貢献し、社会のリーダーとなる人材の育成を目指し、スポーツを通しての人間形成を実践しています。

週三回午後二時間の「スポーツ」の時間を活用し、専門スポーツ専攻として、硬式野球・男子バレーボール・女子バレーボール・女子ハンドボール・サッカーの4種目5競技の強化と競技力の向上を目指します。また、総合スポーツ専攻では、水泳やゴルフ、テニスやダンスなどスポーツクラブでの活動が可能であり、二コーススポーツも様々なスポーツ種目を総合的に学びたいと目指す。この二つの専攻により従来のトップアスリートや体育指導者の育成のみならず、メンタルトレーナー、スポーツトレーナー、理学・作業療法士等幅広い分野で活躍する人材の育成を目指します。昨年度はSDGs「持続可能な開発目標」のうち目標3「すべての人に健康と福祉を」のもと、地域活性化プロジェクトにおいて、高齢者の健康の保持増進のために「やまがとうろうエクササイズ」の普及活動、児童・幼児を対象とした「体つくり運動」を研究・開発し、児童・幼児の体力向上に貢献するための活動、さらに小学生・中学生を対象にした各種スポーツ教室を実施しました。今年度はこの取り組みをさらに充実させ地域に貢献していきたいと考えています。

また、進路決定はスポーツ科学コース開設以来100%。教職に就く卒業生も輩出しています。近年、大学の改革により体育系学部・学科が増加しており、体育スポーツのニーズは拡大しています。この時代の流れをリードすべく、二〇二一年、スポーツ科学コースは更なる進化を目指し、期待されるコース、信頼されるコース、夢を叶えるコースとして大きく前進します。

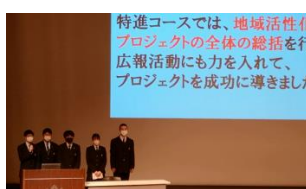


素晴らしい感性

「母の日」川柳コンテスト入賞 一席
看護科一年 有働 元啓 (鹿本中)
母の愛 怒らぬほど 気づいている

個々のニーズに対応した深い学びの実践
普通科 特進コース 主任 竹下 孝世

特進コースでは少人数制にこだわり、一人ひとりの進路実現に向けた丁寧な学習サポートを行い、進路課外の実施やスタディサプリの無料視聴により、学びの充実を図っています。昨年度からは一人一台のタブレットが導入され、より深い学習につながる事ができました。授業や家庭学習、教科担当の先生との個別添削などに活用し、自らの進路目標に向けて学習に励んでおり、国公立大学にも継続と合格しています。また、昨年度は本校での地域活性化に向けた実践発表「ミッション」において、会全体の企画・運営を行いました。その中で得た経験を活かし、山鹿市で行われた「菊池川流域高校生サミット」においてプレゼン発表や総務委員会を務めました。学校内だけでなく地域においても学びを実践し、「真の学力」を身につけられるよう取り組んでいきます。



社会で必要とされる人材の育成

普通科普通コース 主任 緒方 誠志

普通コースは、キャリア教育・資格取得・公務員課外・山鹿市の4つを柱とし日々の学びに取り組みしています。昨年度の市役所の現役公務員を招き、近年、進学・就職に大きな躍進を遂げています。「山鹿学」では地域について学ぶこともその活動を通してプレゼン力や自己表現力を養っています。地域活性化プロジェクトではオリジナルの山鹿かるたを作り、地元少年野球チームや山鹿小学校の児童の皆さんと交流を行い、また、自分たちの「山鹿学」についての学びを発表しました。大変充実した時間を過ごすことが出来ました。今後様々なアイデアを出しながら自分を高め、地域貢献のできる、感性豊かな人材の育成を目指して頑張っていきます。



地域と共に未来を拓く「医療福祉科」
医療福祉科 主任 梅本 洋子

医療福祉科では、様々な場面で地域の方々に関わり、社会貢献ができる、温かくて優しい思いやりの心のある生徒を育成します。また、個性を大切にしながら、互いを認め合い尊重できる人材育成に努めます。昨年度の地域活性化プロジェクトでは、全学年を統合し八つのグループに分け生徒たちも地域福祉の課題解決に向けて自分たちでできることは何かを考え実践しました。主体性、自主性、プレゼン力などを養いながら成長しています。その結果、昨年度の熊本県介護技術コンテストにおいては、最優秀賞を受賞することができました。

今年度も、全ての生徒が輝ける教育を展開していきます。介護福祉士国家試験100%合格、進路決定100%実現。全国介護技術コンテストへの挑戦、シエネリスの視点を養うために高大連携授業や地域連携授業などの充実をさせます。地域に愛され、信頼される医療福祉科として「チーム福祉」を合言葉に進化を続ける学科であらうと思っています。



持続可能な食の提供を考え、人として必要とされる調理師を目指す

調理科 主任 久村 恵美子

調理科は、昨年と同様の著名な先生方を招いての調理実習に加え、実習担当教員に現役で活躍されているプロの教員を配置し、更なる実習の充実を図りました。先生方の卓越した技術だけでなく、調理師として必要とされる「人として大切なこと」を学ぶ機会を整えました。

また、昨年に引き続き、「地域活性化事業」を通じ、「農業と食・食と社会」を探究し、調理師としてSDGsの視点で考える機会を設け、食材の大切さを身に付けた調理師を養成します。「コロナ禍のため、様々な行事に制約が大きいです。可能な限りの地域の方との交流の機会を設け、工夫しながら、安全にできることを考え、活動したいと考えています。技術者査(専門調理師筆記試験)100%達成。



豊かな感性で、仲間と共に看護の学びを深める
「楽しく看護」を学ぶ
看護科 主任 江口 澄子

本校看護科では、「わかる授業」「楽しい授業」を考え、授業を展開しています。高校三年間で看護の基礎教育を行い、一年生から人体・栄養などの専門科目や、基本である基礎看護技術を学習します。五年後の看護師国家試験合格を目指して、同じ夢を持つ仲間とお互いを励まし合い、協力しながら、楽しく「看護」の素晴らしさを学びます。

患者様の命と向き合う職業を目指すため、日々の勉強は決して大変ですが、地域の方々にも力を貸していただき、看護師として必要な豊かな感性を育み、患者様の心と身体に寄り添うことが出来る看護師になろうと、高校課程では「挨拶」「笑顔」「態度」「素直さ」をモットーに頑張っています。

看護科・専攻科の全学年で交流する「学びの伝承」では、先輩から後輩へ多くの学びを伝えていきます。先輩の失敗や成功、勉強法や実習の状況などを知ること、後輩がその「学び」を活かし、更に豊かな感性で看護の学びを深めます。縦の繋がりを大切に、これからも地域に愛される看護科を目指します。



社会のニーズに応じた看護師育成

看護専攻科 主任 赤星 和美

「看護専攻科」は、看護科で三年間学んだ看護の基礎を基に、二年間看護師になるために必要な専門科目を学ぶ課程です。五年一貫校である本校の魅力は、高校一年入学から専攻科二年までの五年間を同じ校舎で学ぶことです。先輩や後輩を身近に感じ、先輩の姿にあこがれると共に、後輩の姿を見て自己の成長を実感できることです。



国家試験 100日カウントダウン

